

令和4年度 学校評価 自己評価（2学期）

1 学校の重点目標

- 基礎的・基本的内容の確実な定着と「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の育成
- 豊かな心を育む「心の教育」の充実（「あいさつ・ハイ・はきもの」の徹底）
- たくましい心と体を育む保健・体育・食育指導の充実
- 安全で潤いのある環境づくり
- 特色ある開かれた学校の創造
- 充実した教育活動に取り組むための業務改善への取組

2 課題と改善策

※4点満点 ※0.2以上の増減↑↓

	評価項目	職員		評価結果と改善方策
学校経営	1 学校教育目標の明文化	3.4	↓	・学校教育目標が浸透しつつある。
	2 教育課程の完全実施	3.3		・ほぼ計画通りに進められている。
	3 学校評価の公表	3.5		・学校 HP で行っている。保護者評価の公表も検討。
	4 全校体制による業務改善	3.3	↑	・年度途中、学級事務の確保など柔軟に対応した。
	5 1 try による業務改善への意識向上	3.1	↑	・まだ 1 try への具体的取組に個人差がある。
学力向上	1 「確かな学力」を育む授業実践	3.1	↑	・国語、算数は高まってきている。社、理も徹底に取り組む。
	2 「学び合い」を推進した授業づくり	2.8		・児童中心の授業づくりができてきている。
	3 各学力調査分析を活用した授業改善	3.0	↑	・指導計画に付箋をはるなどして意識づけができた。
	4 思考力向上をめざしたノート実践	2.8		・児童各自でノートの取り方を考えさせる。
	5 ICT 機器の日常的な活用	3.0	↑	・学び合いでのタブレット活用の実践を進める。
	6 校内研修の充実と自己研鑽の推進	3.3		・他校との情報交換、講師招聘からの学びを継続する。
	7 特別支援教育の視点に立った個別支援	3.2		・職員、管理職で必要な支援を行ってきた。
	8 ねばり強く課題に取り組む力の育成	2.8		・ねばり強さが課題となっている。個別の対応が必要。
生徒指導	1 人権同和教育、命の教育の充実	3.4		・課題となっていた言葉遣いに改善が見られる。
	2 「あいさつ・ハイ・はきもの」の徹底	3.0	↑	・家庭との連携が不足していたので連携を強化する。
	3 読書に親しむ指導の充実	3.1	↑	・読書カードなどで関心を高められた。家庭での実践が課題。
	4 いじめ防止対策の徹底	3.6		・ニコニコチェックの継続がなかなか難しいが実践を継続。
	5 潤いのある教育環境づくり	3.4		・清掃、整理整頓は徹底している。学習環境を更に整備する。
	6 児童が主体的に取り組む環境づくり	3.4	↑	・朝のボランティア活動をよく頑張った。3学期以降も継続。
保健指導	1 健康習慣を身に付けさせる指導の徹底	3.6		・ハンカチの携帯が課題であったが改善してきた。
	2 日常的に運動に親しむ態度の育成	3.1		・行事前以外の日常的な運動習慣を定着させる指導を行う。
	3 感染症拡大防止対策の徹底	3.7	↑	・うがい手洗いの意欲が持続させられるよう指導を徹底する。
	4 食を大切にす態度の育成	3.1	↓	・個に応じた食への感謝や栄養面の指導を強化していく。
	5 危険回避能力の育成	3.5		・校内でのケガは減少している。防災指導を徹底する。
学校開放	1 地域人材、地域素材の活用	3.5	↓	・コロナ禍もあり、地域人材の活用が困難。リモートも検討。
	2 学校を身近に感じてもらう雰囲気作り	3.6		・校内外でのあいさつの習慣化を今後も徹底していく。
	3 HP 等での学校からの情報発信	3.4		・HP にブログをアップし続けている。

3 次学期に向けての取組

○「学び合い」の授業づくりが、学校全体としてよい方向に進んでいる。今後更に職員一丸となって「学び合い」ができる児童の育成に取り組めるよう、日々の授業実践を積み重ねていけるようにする。そのために、職員研修の充実や教師間の相互参観など、学ぶ環境づくりに取り組みたい。

○教師・保護者・児童いずれの評価でも「ねばり強く課題に取り組む」の力が身に付いていないという評価であった。本校で力を入れている「分からない」を友だちに言えるようにする力を身に付けさせると共に、個人や協働で粘り強く取り組む力の育成を図りたい。